

令和5年度第2回日の出町総合教育会議 議事録

- 1 開催日 令和6年2月21日(水)
- 2 開催時間 午後3時
- 3 終了時間 午後4時35分
- 4 場所 教育センター2階 多目的会議室
- 5 出席者
町長 田村みさ子
教育長 小林道弘
教育委員長職務代理者 浜松裕子
教育委員 古山吉利
教育委員 小林作二
教育委員 高野泰弘
- 6 欠席者 なし
- 7 説明員
学校教育課長 萩原哲
指導室長 平崎一美
指導主事 長保雄一
文化スポーツ課長 谷合和久
子育て福祉課長 関谷好史
こども家庭センター準備担当課長 田中雅司
- 8 事務局職員
企画財政課長 木崎義通
企画財政課企画係長 湯本洋和
企画財政課企画係 石川敬大
学校教育課庶務係長 清水強

1 開 会

木崎企画財政課長

只今から、令和5年度第2回日の出町総合教育会議を開会いたします。私は、事務局の企画財政課長木崎でございます。よろしくお願い申し上げます。この会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4」の規定に基づき設置される会議で、構成員は、町長及び教育委員会で町長が招集することとされております。

それでは次第によりまして進めさせていただきます。次第の2町長挨拶、田村町長よりご挨拶申し上げます。

2 町長挨拶

田村町長

本日は大変お忙しい中、令和5年度第2回総合教育会議にご出席いただきありがとうございます。本日の総合教育会議につきましては、議題としまして「日の出町教育ビジョン2023（日の出町教育大綱）」の推進状況と今後の展開を始め、次第にありますとおり、8項目と盛りだくさんでございます。そのいくつかは私の方からお願いしたこともございます。町はここで令和6年度の当初予算を編成しまして、議会への上程直前という状況でございます。6年度の方針として選択と集中を掲げております。多様化、複雑化する行政課題に対し、限られた資源を効果的、効率的に投資していきたいと考えております。

例えば、選択として居場所づくりをテーマにして取り組んでいきたいと考えております。新たな居場所の創出はもちろんのこと、既存の地域資源を活用することも重要であると考えております。いろいろな方面からお尋ねすることになり恐縮でございますが、従来のいじめ問題のことも含めまして、どうぞよろしくお願いいたします。

3 議題及び報告事項

(1) 「日の出町教育ビジョン2023（日の出町教育大綱）」の推進状況
平崎指導室長より資料に則り報告

(2) 「日の出町教育ビジョン2023（日の出町教育大綱）」の今後の展開
平崎指導室長より資料に則り報告

(3) 日の出町教育委員会及び日の出町立学校におけるいじめ防止の取組みについて
長保指導主事より資料に則り報告

(4) 幼保小連携・交流について
平崎指導室長より資料に則り報告

(5) 学校図書館の充実に向けて
平崎指導室長より資料に則り報告

(6) 図書館の充実について

谷合文化スポーツ課長より資料に則り報告

(7) スポーツ振興の方針について

谷合文化スポーツ課長より資料に則り報告

(8) 日の出町教育委員会とこども家庭センターの連携について

田中こども家庭センター準備担当課長より資料に則り報告

●質疑応答

田村町長

報告ありがとうございました。質問やご意見などございますでしょうか。

高野委員

今、かなりの少子化、出生数も 60 人いかないかもしれないという中で、本日の議題にあるこども家庭センターも含めて充実させていくことで、子育てしたい町というようになっていくのかなと思います。学校に通っている児童、生徒も複雑化、多様化した問題を抱えていて、連携としては一歩進んでいくのかなと感じる一方で、様々な資源による支援メニューにつながるところについては、今日の出町にはあまりないような形だと思います。今後、こども家庭センターが動いていくことによって、こちらの支援のメニューは増えるのか、増えていくビジョンがあるのか、それとも各民間などに任せながら行っていくのかというのが少子化対策にとってすごく大事な問題となる部分だと考えますが、それについて何かビジョンなどはあるでしょうか。

田中こども家庭センター準備担当課長

資料に示しております資源については、現在既に、保育所や幼稚園、保育一時預かり等支援につなげることは進めておりまして、小中学校や高等学校、ファミリーサポートセンターやショートステイ事業等についても、相談があった場合はつないでおります。また各種経済的支援、相談等につきましても、西多摩福祉事務所等に家庭の生活保護も含めた相談や、直接の相談をしてもらうようつなげることも行なっております。身体状況に問題がある場合は医療機関や産後ケア、障害児支援、病児・病後児保育につなげるほか、こども食堂、訪問家事支援等、ほとんどが既に利用されているものであります。その他にも新たな居場所づくりが進んだ場合にはそちらにつなげる等、今後新たに開拓するというのも国の方針として入っておりますので、またこれから情報を得ながら、町で直接できるものは町で、委託によって行うものは間接的な補助等行いながら、補助金を活用し、進めていければと考えております。

高野委員

フリースクール、放課後の居場所等、全国的にかなり導入が進んでいる中でまだ日の出町はなかなか進んでいないところがありますし、出産後に転入してきたご家庭がこういった支援が見えてこないということも聞きますので、そういったところの見える化を進めて広げていくこ

とで、日の出町にすれば安心だなというのが、せっかくできるのですからあればいいなと思います。

田村町長

見せ方が不足しているのは重々承知しております。教育委員会の事業も含めて、福祉と合わせた全体の分かりやすいものを作ろうと検討している最中でございます。完成品ができた際にはご意見を頂戴できればと思います。

平崎指導室長

教育としてもいろいろな問題がある中で、福祉と別々でやっていくことは難しい時代になりました。教育と福祉が融合、結合していくことで一体となって一人の子どもの育ち、その育ちに伴走する家庭をサポートしていくという大きな考え方を示していくことが大事になると思います。それが日の出町の子育てのキーワードとまでは言いませんが、こども家庭センターの設置にあたり、教育もタッグを組んでやっていくんだということをアピールしていければと思います。

また行政主導で下したものを持続的に供給し、根付かせるのは予算や人材等で難しいことがありますので、町民の方も一緒に、自分たちで教育や町をつくろうと考えていただくことで持続可能なものになっていくのではないかと思います。日の出町にそのような土壌といいますか、地域コミュニティがあるのではという可能性を個人的に持っています。こども家庭センターを設置し、やっていく中で、シンポジウムの開催やお互いの意見交流ができるそれこそ居場所という空間の中で子育てのミーティングを行うことで、声をたくさん拾い上げ形にいていくということが必要なのではと思います。子育ての施策を考えながらそこに教育もつなげていくなどのいい循環が生まれるのではないかと期待しています。

田村町長

大きな自治体を見ると、ヤングケアラーは別部署で相談を受けているというところもありますが、日の出町の場合はそこも含めて全体をこども家庭センターが見ていますよというアピールをしていきたいです。

古山委員

教育委員会とこども家庭センターが子どもの健やかな成長のために連携するのは当然のことと感じます。現状、連携をしていくうえで、どのような点が課題となっているのでしょうか。

田中こども家庭センター準備担当課長

まず、なにか問題がある子どもさんがいらっしゃった場合に、学校が通告元となって直接通告が入り、早期に対応ができる場合と、ご家庭との関係性を考慮し、通告があってもなかなか対応ができない場合があります。先生や通告者の個人的なつながりではなく、組織的につながることによってしっかりと連携を取るという状態にしておかないと、担当者によって連絡ができないというようなことがあるといけないと考えます。組織間の連携を取っていくということ

が大事だと、一例ではありますが、感じるところであります。

平崎指導室長

常日頃、自分が行っている業務が、関係のある部署とどうつながっているかというのを我々自身が意識しないと、連携はうまくいかないと思っております。そういうところでいうと幼保小連携であれば「もうすぐ一年生」や「架け橋プログラム」のような教育側の事業もつながっています。日ごろからお互い情報交換を行っておりますし、教育ビジョンにもありますとおり、行政側が意識して組織横断することにより、付加価値等が生み出せるのではと考えております。

古山委員

すると、なにかあるケースがあって、そのケースに関わる対応をしていくにあたって差しさわりがあるというよりも、組織間で認識をそろえ、連携して取り組んでいく必要があるという、元の部分をお互いが明確に持ちたいというように捉えてよろしいでしょうか。

田中こども家庭センター準備担当課長

守秘義務の有無等、組織の中での共通認識は重要だと考えます。組織間での風通しをさらによくしておく必要があるということ課題として捉えております。

平崎指導室長

物理的な距離はどうしようもないのですが、そこを埋められないのならば何をしたらいいのかを考えていく必要があります。

古山委員

情報などについては相互に必要としているもので、子どもを中心として考えれば良い教育、良い福祉というのは同じことで相互性があるものであり、ウェルビーイングを図るということでもありますね。

小林教育長

教育、福祉の連携システム作りを早期に行っていきたいと考えております。現在も情報共有は行っておりますが、より強固にしていくべきです。

田村町長

こども家庭センターの連携の在り方や教育と福祉の関わり方について、少し落ち着きましたら、教育委員のみならずも含めて会議などを開いた方がよろしいでしょうか。プロジェクトチームもありましたが、そこでは教育との連携についてはまだしっかりと話が出ていない状況でありますので、ぜひそのようなご協力も願えればと思います。

(9) その他

木崎企画財政課長

本会議は例年2回開催しております。次回は令和6年5月を予定しております。

4 閉 会

木崎企画財政課長

皆様ありがとうございました。最後に田村町長から会議の総括を申し上げます。

田村町長

本日は長丁場となり、ありがとうございました。議題にありました、「日の出町教育ビジョン2023」の進捗状況や今後の展開につきましては、地域コミュニティ・スクールなど、教育のみならず、子どもたち全体をみる町民のみなさまの目が必要であると感じました。またいじめについては教育委員会からいじめ、不登校の報告がございました。令和6年度開設のこども家庭センターと教育委員会、小中学校との連携は、こうした不登校や虐待でも不可欠だと考えます。これまで以上に綿密な連携が必要です。

幼保小の連携に関しまして、教育というのは人格形成の基礎となり、重要な時期であります。大変熱心に行っていただいているということをお伺いしたので引き続きよろしく願いいたします。

図書館についてですが、あらゆる世代の居場所になりえますので、学校の図書室と町の図書館とで連携をした中で、古くなった本の入替等も検討していけたらよいのではと個人的には考えます。

スポーツ振興については、東京都のスポーツ振興審議会にてスポーツ推進総合計画を作っております。私も町村代表の審議委員として参加しておりますので、何かご意見がございましたら、ぜひよろしく願いいたします。

町ではこの他にも、教育や福祉など子どものことについて様々な問題を抱えております。今後ともよろしく願いいたします。